

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2022～2023年度クラブ目標

『想像しよう、未来のロータリー
創造しよう、これからのクラブ』

会長 高 島 裕
幹事 車 田 裕 介



イマジン
ロータリー

2022-23年度国際ロータリーテーマ

第1719回例会

令和4年7月14日 (18:30～19:30)

○ソング

- 四つのテスト

○スマイルBOX

- 高島裕会長 (本日、年度方針を発表して頂いた委員長の皆様ありがとうございました。一年間よろしくお願ひ致します。)
- 金田昇会員 (今年度は地区の研修委員会に配属となりました。ロータリアン皆様と共に学びましょう。各委員長様よろしくお願ひします。)
- 永野文雄会員 (五大部門・小委員会の発表者の皆様ご苦労様でした。)
- 宮本多可夫会員 (今年度も、ビジョン推進・研修委員会の委員長として活動させていただきますが、皆さんの協力をよろしくお願ひします。)
- 吉野敬之会員 (高島会長・車田幹事、今年度が無事始まりました事、誠にめでたうございます。西クラブの人数では会長は一度きりの貴重な経験となるかと思ひます。山有り谷有りで大変でしょうが、頑張ってください。)
- 青木大会員 (先週、100%出席で賞をいただきありがとうございました。また、高島会長、2回目の会長の時間お疲れ様でした。3回目も楽しみにしております。)
- 佐川京子会員 (高島裕会長、車田裕介幹事の新しい年度の船出おめでたうございます。先週は職業奉仕で休んでしまいました。一年間お世話になります。よろしくお願ひ致します。)
- 成井正之会員 (今週の大谷スマイルは7月9日の19号、1本でした。投手としては9勝目でした。)
- 渡部勝也会員 (高島・車田年度よろしくお願ひ致します。今年度前期分スマイルします。)
- 藤田和克会員 (本年度もスマイルBOX委員会の担当をさせて頂くことになりました。よろしくお願ひ致します。)

▶第1719回例会出席状況 (R4年7月14日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	65名
Ⓒ ①の出席者数	25名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	10名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	35名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	61
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	57.3%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

高島裕会長



皆さん、こんばんは。本日もお忙しい中、例会のほうに出席をいただきまして本当にありがとうございます。先週は、52名の会員の方に出席をいただき、スマイルのほうも10万円を超えるという大きな金額をいただきました。本当に心より感謝申し上げます。先週の例会が終わった次の日に安倍元首相が凶弾に倒れるというような事件が起きました。今の民主主義の日本で起こってはいけないような事件が起こるといような、事件があったわけですが、大変衝撃のニュースでございました。そしてまた今現在、オミクロン株のBA.5のほうもまた急速に拡大してきて、いよいよ普通の生活に近づいていくのかなと思ってた矢先に急激に、東京ではもう1万5千人を超えるというような人数でございます。白河でも、昨日は13名という人数が感染しておるわけですが、東京の人口と東京の罹患者1万5千名を比較した場合、そして白河の約6万人の人口と13名を比較した場合は、割合的にはほぼ同じくらいなのかなと感じてはおるところでございます。本当に身近なところにコロナウィルスがもう本当に蔓延していると、そんな状況にあります。皆様におかれましても、極力感染症対策を取りながら注意をしながら生活を送っていただければと感じております。わたくし事にはなりますが、本日早朝より友達と一緒に人間ドックを受けてまいりました。二年に一度というふうな形で受けてはおるものですが、やはり会長として一年間健康な体で全うするためには、定期的なメンテナンスが必要なのかなというふうに感じております。わたくし意外と臆病でして、今日人間ドック申し込みにあたった時、麻酔で胃カメラを飲むというようなものを申し込んだんですが、実はもう麻酔のほうも予約でいっぱいになってますよということで、結局胃カメラは飲まずに今日は帰って来てしまいました。ただ、二年に一度は人間ドックを受けているという精神的な部分から、健康的な部分も含めて意識していながらということでもありますので、胃カメラを今回飲まなかったということもありますが、結果が来るまでは心配ではありませんけど、精神的には楽になったなというふうに感じております。うちのクラブの会員であります渡部則也先生の所に行けば、胃カメラのプロでございますのでその辺はいつでも受けられると思っております。

で、皆さんも健康づくりには特段気を付けていただければと思っております。やはり、女性に関しても年齢を重ねてからお肌の手入れをするよりは、若いうちからお肌の手入れをしていたほうが年を重ねてもお肌がよいというふうな形で、車もそうだと思います。新車で買ったからメンテナンスしなくていいのではなく、車も新車で買ってメンテナンスをしながら乗っているというふうなほうが長持ちするということ。人間の体も自動車も同じようなことで、常に定期的なメンテナンスが必要だと思います。皆様におかれましても当然高齢化社会でありますから長生きしていくのは当然であります。健康寿命と長生きとはまた別であって、健康寿命、年齢を重ねても健康な体でゴルフをしたり、趣味に興じたり、あるいは散歩、買い物、こういった事が日常的にできる体が健康寿命であって、病院で長生きしてるのとはまた意味が違ふと思います。皆様におかれましても、健康寿命を常に意識しながら、いかに自分が健康で幸せな生活を送っていけるか。そして、会員の皆様におかれましては、ロータリークラブで活動すること。これが健康寿命の一つの秘訣になるのかなというふうに感じております。今日は、五大部門、それから小委員会の各委員長さんから、いろいろ年度方針を伺いたいと思います。私のお話ではありますが、健康的な生活を送っていきましょうということは、これ皆さんと同じく合言葉として一年間目標にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお祈りいたします。今日は、各委員長の皆さん、年度方針のほう、どうぞよろしくお祈りいたします。簡単ではありますが、会長の時間とさせていただきます。どうぞよろしくお祈りいたします。

■幹事報告

車田裕介幹事

- 県南分区ガバナー補佐（パスト）金田昇：県南分区ガバナー補佐事務所閉鎖報告とお礼
- ガバナー事務局：クラブの請求書の件について
- ガバナー 佐藤正道、地区リーダー 石黒秀司、地区・倶楽部規定委員 芳賀裕：「地区・倶楽部規定委員会」セミナー開催について
- ガバナー 佐藤正道：計報
- 県南分区ガバナー補佐 群部仁喜、県南分区幹事 味戸雄二郎：県南分区負担金のお振込みのお願いと口座番号について
- ロータリー米山記念奨学理事長 若林紀男：2022-2023年度上期普通寄付金のお願い
- 石川ロータリークラブ会長 三瓶光雄、幹事 添田四十四：2022-2023年度年次計画書・報告書の送付

について

- 白河市長 鈴木和夫：夏季街頭献血キャンペーンの御礼
- 社法優樹福祉会オープンハウス管理者 鵜沼房江：広報誌「オープンハウスNO30夏号」送付のご案内
- 白河市国際交流協会会長 内藤義久：令和4年度「白河市国際交流協会総会」の開催について（通知）
- ロータリー米山記念奨学事務局長 柚木裕子：ハイライトよねやま268号
- 米沢中央ロータリークラブ：2022-2023年度計画書／年次報告書

■委員会報告

- 会計理事 寺島由和会員



皆様、こんばんは。会計の寺島でございます。会計のほうからのご連絡になります。今月は会費の引き落とし月となっておりますので、7月25日に皆様の口座のほうから引き落としのほうをさせていただきますので、ご準備のほうをよろしくお願いいたします。それから、直接お振込みいただく会員の方もいらっしゃるかと思いますので、こちらのほうも尚手続きのほうをよろしくお願いいたします。後程、事務局のほうからいつもど通りお送りさせていただきますので、内容のほう確認いただきご対応のほうをしていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

- ゴルフ愛好会 鶴丸彰紀会員



はい、ゴルフ愛好会からご連絡差し上げます。先日、ファックス、メールでも回っていると思いますが、横田会員の送別ゴルフコンペを開催させていただきます。7月18日、伊王野カンントリークラブです。現在、8人参加の方いらっしゃいますが、あと4人参加できますので、こちらのほうには端から回させていただきます。もし、参加をご希望の方はチェックをして、例会終了までに回るようよろしくお願いいたします。

■任命状伝達式

吉野敬之殿

R L I 委員会、DLチーム、ディスカッションリーダー



吉野敬之会員の挨拶



ディスカッションリーダー、R L I は当クラブにおきましては、中目年度の時から会長・幹事が必修科目ですよというような形で皆さん受けているのでございます。その中でもDLチームというのはディスカッションリーダーというものを担当させていただいて、そのR L Iをうまく回すというか、簡単に言うと司会をやるというようなことでございます。実は2月3月くらいから、この既にトレーニングは始まっておりまして、ズームのトレーニングの時は私も出れたんですけども、ちょっと4月5月はわたくし個人的に忙しいことがありまして、リアルになったこともあってちょっと伺ってないんですけども、是非一年間頑張ってやりたいなと思いますし、そこで学んだことを皆さんのほうにフィードバック出来たらいいなというふうに抱負を持っております。

■本日のプログラム

五大部門・小委員会年度計画



○社会奉仕委員会 齋藤孝弘委員長

皆さん、こんばんは。副委員長に関谷さん。委員に、片倉先生と吉成真五郎さん。このメンバー見ただけでも大河ドラマ風に言わせていただくと鎌倉殿を逆に支えなきゃいけないのかなというふうな、非常に荷が重い気です。でも一年間、このメンバーで頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。テーマは「情熱 行動 感動 共有」。情熱をもって行動し、感動を共有しようというのが地区テーマでございます。事業としましては、持続可能な変化をもたらす事業の推進。地域のニーズを掘り起こし調査し、成果を出すことが目的としています。特に、インパクトのある奉仕事業をしたいと考えております。何年か前から、小学校にちょっとづつ寄贈をしている事業でございますが、今回もそれを続けていきたいなと思っております。こういう考えに至ったのは、PTAやってる時にどうしても社会文化の事業費が非常に少なく、全国大会なんか行く時は親が皆からかき集め、いろんな協賛貰ったりして大変苦労して学校の子供たちをいろんなとこに連れて行かなきゃならない。せっかく優勝したり、良い成績を残して全国大会とかに行くにあたってかなり大変な事業、お金が必要ということで、なかなかその大変なので、いろんなところに逆にお金が回らないという、本当になんかつじつまが合わないような学校生活をということがありますので、是非このこと打破したいなというふうな考えもしております。特に、高島会長は議員でもありますので、市のほうにしっかり要請していただいて、この辺の予算をたっぷり取っていただいて、子供たちのために、是非やっていただきたいなということがありまして、事業を行いたいなと思っております。特に、小学校に対して何か必要なものをヒヤリングして、それを多少なりとも寄贈し、こういう状況であるということをご皆さんに伝えていきたいなという考えで事業を起こしております。もう一つは、高島会長の思いを一つのプロジェクトにしたいと思っております。フードロスの問題も今非常にありまして、わたくし米屋でございますが、年間日本で生産されるコメの量って皆さんご存じですか。約700万トンですね。消費されてるのは消費されてるんですがフードロス、米だけじゃないんですけど日本におけるフードロスは約550万トン。日本で生産されてる米で例えちゃうとちょっと変ですが、

そのほぼ近くはフードロスとして捨てられてるというこの状況をやっぱり子供たちに教えてあげたいというのが高島会長の意向でして。福島県の食材を子供たちに給食で食べていただいて、その辺のフードロスの考えを子供たちに教えてあげたいなという授業を行いたいと思っております。一年間、本当に少数精鋭でやっていきたいと思っておりますが、皆様のご協力がないとできない事業ですので、よろしくお願いいたします。

○職業奉仕委員会

吉野敬之委員長



改めまして、こんばんは。今年度、職業奉仕委員会委員長を仰せつかりました吉野でございます。当委員会は、副委員長に金田昇前パストガバナー補佐、それと仁平さん、上杉謙太郎君という4名の強力なメンバーでございますね、一年間活動させていただきたいと思っております。職業奉仕のほう、先日ちょっとお話をさせていただいたかと思っておりますけども、ロータリアンは日々の仕事をして生きる力の根本である自らの道徳的能力を高め、それを社会に反映させることを責務と考えて努力しているということです。即ち、ロータリアンは日常の職業活動を通して自分の職場の従業員、取引先の人たちや関係者、ひいては地域社会の人たちの模範となり、生きる力の根源である道徳的能力を向上させることに努めているのです。このような仕事の仕方を、ロータリーでは職業奉仕と呼んでいます。というような定義がされております。職業奉仕をロータリー的にいくと今のような言い方になるんですけども、わたくしは個人的にはやはり職業規範というより、道徳的な憲法とかそういうものに触れないような範囲できちんと仕事をしましょうということをごまず規範といたしまして、これ当たり前の話ですよ。犯罪性があるような職業等は行わない。また、そういう行動をしない。これは社会人や職業人にとって当たり前のことでもありますし、更にそういった考え方に立脚した上で、経済活動をしっかりやることがロータリーの基盤ですよというようなお話をされているのだと思います。そういったところ、もう一度皆様と一緒に読み解いて考え方を平たくしていきたいなということが一つと、実際にこの中ではそういったことに問題があるような職業をなされている方はいらっしゃるんですよ。ほとんど問題がない中で、じゃあ実際にロータリーの中で職業奉仕を突き詰めてやっていくことはどういうことなのかなという、今ある職業、ご自分それぞれの職業であったり、仕事というものを具体的に昇華させるために、何か今後活

動できないかというようなことを考えていったほうがいいのではないかと、いうふうに私は思っております。それぞれの職業を道徳的な考え方の職業奉仕というよりは、それぞれの仕事がより豊かになって、その結果、社会に還元できる、奉仕ができるというような活動をしていくことができるような会社、もしくは企業、個人個人になっていくということが大事なんじゃないかというようなことを、もし一年間で出来ればいいなというふうなことを考えております。今年度、高島会長が掲げております「想像しよう未来のロータリー 創造しようこれからのクラブ」というようなテーマがございますけれども、やはり未来とかこれからというように話になりますと、やっぱり今からどういうふうに変化していくんだと。今からどういうふう成長していくんだってということが、非常にやっぱり大事だと思うんですね。ロータリーという組織の良さは、異業種の方がこれだけ集まってらっしゃるので、それぞれの単一業種の中でしか考えが及ばないようなところを、いろんな業種の方々のいろんな視点から、いろんな事をヒントいただけるというような非常にチャンスもあるのかなというふうに思いますので、そういったところを集約し皆さんのもとに還元していくというような活動を一年間続けていけたらいいなと思っておりますので、是非皆様方のご協力もよろしくお願いしたいと思います。

○国際奉仕委員会

諸橋和典委員長



皆さん、こんばんは。国際奉仕委員会委員長となります諸橋です。副委員長に、矢田部錦四郎さん。委員に、富永章さん。同じく委員に、遠藤敦さん。わたくし以外がパスト会長という、大変心強い委員会構成になっております。現在のコロナ禍蔓延の状況や、異常な円安の経済状況の中では、効果的に海外と直接交流して国際奉仕をしていくという事が非常に難しいような時期だと思われま。そこで足元を見た時、我々の活動エリアで県南地区にも沢山の外国人が働いたり勉強したりしています。少子高齢化が進んでしまっている現在ですが、将来を想像した場合、やはり日本人単独だけでこの地域を盛り上げたり、経済活動がしっかりしていくというところが、かなり想像しづらいような状況かなと思います。そこで、そういった外国人の方々にこの地域で活動してもらうということが、成長していく一つの方法だと思っております。そこで、この地域に住んでいる外国人の方々がこの地域に親しみを感じたり、困った時に手助けでき

るような環境が作れたら、より良い関係が築けるんじゃないかなと思っております。そこでまず手始めとして、ロータリーの例会に参加してもらい、親睦を深め、一緒に何かをできるかということを検討して、その外国人の方がこの地域に対してどのような思いがあるのか。あと、日本に対してどのような思いで来ているのかということをお互いに話し合っ、その中で国際的な交流がこの地域でできて、一緒に何か親睦というか交流が深めるような活動が出来たらいいなと考えております。以上で、今年度国際奉仕委員会の活動計画とさせていただきます。

○ビジョン推進・研修委員会

宮本多可夫委員長



皆さん、こんばんは。今年度も、ビジョン推進・研修委員会の委員長を仰せつかりました宮本です。わたくしはこの委員会で、今年度で4年目になります。この委員会は非常に基礎的なといえますか、縁の下の力持ち的なところですので、今年度も手を抜かずに頑張っていきたいというふうに思っております。今年度の計画では、会長の基本方針で「想像しよう未来のロータリー 創造しようこれからのクラブ」と、ここにこう書いてあるとおりでございます。このようなテーマを会長自身が掲げてくれているということで、我が委員会の目指すべきテーマと非常に重なっております。更に会長自身の言葉では、将来的にロータリーがどのような方向に進むのか。どうあるべきなのかを想像し、これらに沿って長期的なビジョンを皆さんと考え、創造を進めていく一年としていきたいというふうに宣言しております。我が委員会もこのとおりに、この方針をそのままいただいてやっていきたいというふうに思っております。委員会の方針としましては、前年度もありましたようにホームミーティングで我がクラブの在り方みたいなものをテーマとして、各会員が主体的に議論に参加する雰囲気を作っていきたい。次に今年度、規定審議会の新しい定款の日本語版が、ちょっと時期はわかりませんが出てくる中で、我がロータリークラブとその国際ロータリーの定款との整合性があるのかどうかというところのチェック。これは言わばハードミタ的なところですが、そういうところをやっていきたい。ついでに、ちょっと時間があるということの中で、前年度の回顧の中でもちょっと書いておきましたけど、もう少し言葉を付け加えまして、個人とロータリーという意味ですね。我々ロータリーに出席しよう。あるいは、

活動しようということのモチベーションというのは、どの辺から出てくるんだろうということ率直に本音で考えてみますと、結局何の形でもいいです。奉仕です。こういう委員会を円滑に進めるような各種係での奉仕。あるいは、ロータリーの名を冠して社会に飛び出して活動する。あるいは、国際的な協力で奉仕する。いろんな奉仕の仕方はいろいろあると思うんですが、その奉仕の活動を主体的にすることで一人でやるのではなく、仲間と一緒にやるということで親睦ということで、奉仕してその中でお互いの友情を深め合っで親睦を深める。そして、その過程で自分が自己成長している。そういうことを自覚すると。そういうプラス循環と言いますかね。奉仕、親睦、それから自己成長の確認。そういうことを各自各自がその個人個人の内面の中で実体験していく中で、このロータリー活動に対する参加、あるいはこのモチベーションというのは上がっていく。そういうことも、いろんな機会をやりながら我々個人が本音で、ここで会費を払って時間を作ってここに参加する意味というところの、ロータリーのその参加するモチベーションというところを捉えなおすということを含めて、こういう中で、我がクラブが将来的にどういう形が最もビジョンとしていいかということ再確認していきたい。そういうことを考えながら今年度一年間、会長と共に頑張っていきたいと思ひます。一年間、よろしくお願ひします。

○親睦活動委員会

大住由香里委員長



皆さん、こんばんは。今年度、親睦活動委員会の委員長を仰せつかりました大住由香里です。ただ今、委員長を受けてしまったこと、絶賛後悔中なんですけれども、本当に私で良かったのかというぐらいの後悔でいっぱいなんです。親睦委員会ってということだけで考えさせていただくと、もう既にミーティングなどもやっていますし、ラインの交換とか、電話だったりとか、私が電話したことのないようなご連絡を差し上げたことのないような方々にも連絡をすることができて、早速親睦が深められてるのかなと思ひておひます。今年、誕生日、結婚記念日のお祝ひの企画のほうも、早々に決めさせていただきまして、根本会員のほうから誕生日のお祝ひは自分では買わない高級なジュースをつかってはどうかというところを決めさせていただきまして。そこから、「ココファーム」さんという所のジュースを選んでいただいて、そこは障害を持つ方々を使った農場に委託したジュースを作っているという所なので、親睦委員会の

私の年にそれを選べることはいいんじゃないかという形で、根本会員のほうも考えておひておひます。結婚記念日のお祝ひの品も、私も根本会員も結婚記念日の記念品いただいたことないんですけども、一生懸命考えさせていただきまして、どのような物を奥様がいただいたら、旦那様が貰ったら嬉しいかなということ、結局はロータリーの商品券になったんですけども、今年、高島会長のエピソード入りのメッセージカードをお願いしてあります。その他に、白紙のメッセージカードも入れさせていただきまして。そこには、パートナーの皆さんに日頃のお気持ちを書いていただくことが、凄くプレゼントとして良いのではないかと、私なりの根本あゆみ会員と考えた、貰ったことのない二人の案です。どうぞ皆さん、きっと奥様達、物は買えると思うんですけども、旦那様からの言葉ってすごく喜ばれると思ひますので、そういった意味でも使っていただければなと思ひます。長くなりましたが、当委員会は会員同士、会員のご家族、また地域団体との交流、親睦が一層深められるように、企画運営を行ってまいります。コロナの影響で中止となった行事が沢山去年もありました。今年度は、また増えてはきているんですけどもその行事等を復活して、そしてそれ以上のものにできるよう委員会で検討していきたいと思ひます。細心の注意を図りながら進めていきますので、皆様のご指導とご理解とご協力をお願いいたします。活動内容なんですけれども、誕生日、結婚記念日のお祝ひの企画。ホームミーティングの設営。納涼例会の企画運営。J C、Y E Gとの交流親睦会の企画運営。新入会員歓迎会の企画運営。クリスマス例会の企画運営。観桜会、会長幹事慰労会の企画運営となっております。早速、10月1日の野球のほうの親睦のほうの企画の依頼もありました。そういったものが、コロナとかでなくならないように、そして会長が最後に大住を選んで失敗したって言われないうような、楽しい親睦を図れる委員会にしていきたいと思ひますので、メンバーの皆様、そして会員の皆様のご協力、よろしくお願ひいたします。メンバーを紹介するのを忘れまして。親睦委員会、委員長わたくし大住由香里。副委員長、吉成真五郎さん。それから委員が、大竹憂子さん、根本あゆみさん、増子国安さん、島田修一さん、鶴丸彰紀さん、瀬谷隆志さん、永山龍太郎さん、白岩修一さん、総勢10名の委員会となっておりますので、よろしくお願ひいたします。

○ロータリー情報委員会

中目公英委員長



皆さん、こんばんは。高島年度、委員長を二つ重複して受けてるのはわたくしで、これは高島会長からの愛のムチだと思っています。本当にありがとうございます。その一つ目の委員長が、

ロータリー情報委員会の委員長です。これは会長経験者の3年委員で私が3年目で委員長になりました。高島会長の年度方針に乗っ取りまして、クラブのメンバー全員に、とりわけ新入会員のメンバー、入会5年くらいまでのメンバーに対して、ロータリーの最新情報、並びにロータリーとは何かについて、新人のロータリーの研修を担当する委員会です。委員会のメンバーは、副委員長に吉野敬之さんと、委員の鈴木孝幸さんです。たかゆきコンビが頑張ってくれて私の下に付いてきてくださっています。今年度、メールで委員会をしましたところ、副委員長の吉野敬之さんのほうから強いサゼスションがありました。何かというと、吉野さんが会長35周年の時、居川先生と組んで沢山の新人会員が我がクラブに入ってくれましたが、その方々のフォローアップがなかなかできてないんじゃないのかというお話を頂戴いたしましたので、例年どおり新入会員に対するいろいろな情報提供ばかりでなく、入会3~5年くらいの方々に一度お集りをいただいて、今ほどの大住さんの新入会員の歓迎会的なお祝いの飲み会のほうは親睦ですけれども、勉強会みたいなものを一度したらどうでしょうかという提案がありましたので、是非こちらのほうを実現していきたいと思っています。ちなみに、今日ここにいるメンバーはほとんど長い方ばかりですけれども、現在ロータリークラブの出席義務というのは何パーセントでしょう。昔は、一年間で60パーセントを出席しないと年度終わりの時に、偉い方々から「君、そろそろロータリー辞めたら。」と退会勧告を受けるというふうなシステムでした。現在は大変緩やかになっておりまして、出席率50パーセント、上期、下期、前半と後半それぞれ出席率50パーセントをクリアしてくださいというのが、現在の国際ロータリーのほうの勧めになっております。しかも、60パーセントを昔は確保するためにメーカーシップしなさいと言っていたんですが、メーカーシップも昔は例会の前後1週間だったのが、いつの間にか前後2週間の14日になり、今は一年間のうちいつでもいいみたいな形になって緩やかになってはいますが、それでも50パーセント以上の例会出席は確保してくださいというふうなことが、例会出席はロータリーの基本であるというふうになっております。こういうふうなことを一

つを取って見ても、新入会員の方々に対するロータリー情報を提供していきたいというふうに思っております。以上、我が委員会の年度方針を報告させていただきました。よろしくお願いいたします。

○クラブ会報委員会

山田顕一郎委員長



皆さん、こんばんは。今年度、クラブ会報委員会の委員長を仰せつかりました山田でございます。私のほかに副委員長に池田会員。そして、永野パスト会長と渡部会員ということで、私が

委員長をやるには本当恐縮な程の強力なメンバーでございます。クラブ会報委員会ですが、先週高島会長からもお話しいただきましたが、堅実に大きく何かこう変えるというのはちょっと現状難しいのかなと思います。堅実に読みやすい、良い写真を撮りまして、後は校正のほうをしっかりとやっていければと思っております。先週、写真を撮りまして、この台の前のこのパテーションといいますが、これ越しに写真を撮るとどうなのかなと思ったんですが、案外違和感がないような感じで撮れておりますので、大変良かったなと思っております。一年間、よろしくお願いいたします。

○IT委員会

鶴丸彰紀委員長



本年度、IT委員会委員長を仰せつかりました鶴丸でございます。よろしくお願いいたします。副委員長に、十文字会員。委員に、諸橋会員、井上会員、水上会員という5名で一年間やって

いきます。よろしくお願いいたします。IT委員会の今年度の目標は、ITによるデジタルの活用と効率化を目標に挙げさせていただきました。西ロータリーのITというのは、2530地区の中でもかなり進んでいます。昨年までも、阿部委員長のもとズームの通例化といいますが、常にズームが行われている状態というのを維持することができました。これにより、コロナで例会が中止になる状況になっても、例会の開催をズーム上で行うこともできたという効率もあります。こういったところを見習わせていただき、今年度もそれを維持できるように、またこの今騒がれています第7波とか、コロナの影響等が出てきても、西ロータリーはズームでの開催が可能だという状況を維持できるように、今年も頑張らせていただきます。また、ズームで参加されている方まだまだ少ないんですが、このズーム参加が増えることによって、来やすいとか参加しやすいという部分が効率として上げられればありがたい

ところですし、楽しんでいただけるような例会が実施できるように努力していこうと思います。また同時に、今年度2530地区の全体の動きとして一般の人向け。会の中ではなくて、それ以外でロータリーって何やってんのかなって気になってる人が、情報に接触できる場としてホームページとかの充実ということが先日の勉強会でも出ました。今週末にも、また勉強会があります。こういった形で、SNSを通じてロータリーの活動を一般の方にもわかっていただけるような窓口を作りたいというのが地区の願いであります。同時に、これをIT委員会として今期、ホームページの充実ですか、フェイスブックとの連携という形で推しはかっけていきたいと思います。また、今話しましたこのホームページの活用というものがなかなか今できてない状況になっています。IT委員会として、会員皆様の効率を上げるという意味で、ホームページのほうにいろんな情報を集約して、とりあえず訳わからなくなったらホームページ見ればわかるよねというような状況になっていけば、情報が集約できるかと思っておりますので、そういった意味で貢献をしていきたいと願っております。以上、今期IT委員会のほうで目指すのは、活用と効率化ということでやらせていただきますので、是非皆様からご忌憚のない意見をいただければと思います。今年一年、よろしくお願いたします。

○ S A A

青木大 S A A



今年度、S A A会場監督を務めます青木大と申します。一年間、どうぞよろしくお願いたします。そして副 S A A に、居川孝男パスト会長。副 S A A に、鳴島三夫パスト会長。副 S A A に、石部辰雄会員。副 S A A に、小林義勝パスト会長。副 S A A に、藤田和克会員という6人のメンバーで一年間、会場監督させていただきたいと思っております。本日、日中に増子会員と会いまして、「そういえば青木さん、S A A委員長になったんですね。ところで、S A Aって何ですか。」って聞かれたんですね。僕は「なんででしょうね。」って答えたんですね。意味わからなかったんで、誰かすみません。教えていただけたらと思うんですけど。S A Aの略は、何を取ってS A Aになったんですかね。サージェント・アット・アームズ。はい、ありがとうございます。サージェント・アット・アームズというのをしっかりと頭に叩き込んで、増子国安君に説明したいと思っております。後でスペルも調べてみたいと思っております。会場監督するのか、監督されるのかちょっとわかりませんが、一年間しっか

り努めたいと思います。本年度は、高畠裕会長が掲げた「想像しよう未来のロータリー 創造しようこれからのクラブ」というもとに昨年度、山口 S A A が築き上げたものをリスペクトしながら、一年間会の運営を行っていききたいと思います。ここに掲げてあるのは、会長、幹事、そして各委員会と連携を密に取り、円滑な例会運営を行います。そして、ゲスト、メンバーのエスコート役を担います。最後に、メンバーに喜ばれる出席向上に繋がるような食事の内容を提供しますということで、来週はなんと土曜の丑の日の近くになってきました。ただ、本年度は非常に鰻が高騰しておりますので、予算が許されれば来週は鰻がちょっとだけ出るかもしれませんが、予算が許さなければう巻きのようなちょっとしたものしか出てこないかもしれませんけど、次週楽しみに例会に参加していただければというふうに思います。そんなことで一年間、いろんな食事を提供しながら、月に1回はカレーの日なんかも作っていききたいと思いますので、皆さん楽しみに参加をしてください。一年間、どうぞよろしくお願いたします。